

## 第12回岡山県森林インストラクター会自然観察会実施報告書

開催日時 2022年10月23日(日) 9時30分～15時00分  
フィールド 成羽天神山(岡山県高梁市成羽町・備中町)  
集合場所 高梁市備中町西油野  
主催 岡山県森林インストラクター会  
後援 岡山県、高梁市、NPO法人フォレストフォーピープル岡山

第12回自然観察会の概要を報告します。

参加者は、一般参加44名、会員10名でした。

長期予報では、一時雨の予報もあり心配していましたが、当日は晴れて絶好の登山日和に恵まれました。ただ、日本海側は天気が崩れていたようで、晴れた日に鈴振崖の北方に見える大山は雲に隠れていました。

観察会には、年齢の高い方も参加されるため、参加者の体力と歩行時間や樹木の説明時間を考慮し、例年よりも集合時間を30分早く設定しました。

成羽天神山への登山は、多くが成羽町の坂本から中国自然歩道を登り降りするルートを選びます。しかし、登山口からの標高差500mと体力的に厳しいルートです。そこで、ネット検索や下見をする中で備中町西油野から天満神社へ登るルート(標高差250m)に決定しました。

上記のような事情から、集合場所が山中の県道わきになり、場所が分かりづらいことが問題でしたが、道路の分岐ポイントにのぼりを立てたり、カーナビの設定の仕方を参加者にはがき連絡するなどの対応をした結果、集合時間の10分前には一般参加者全員が集まりました。スタッフで、朝8時から開催準備を始めましたが、のぼり立ての作業中に早めに現地に来たと道を確認する方もおられました。

開会式は、中島会長のあいさつ・諸注意等を終え、準備体操の後、4班に分かれて出発しました。

屋外での観察会とはいえ、マスクをしての行動のため、説明者、参加者ともに息切れしないように気を使いながらの登山となりました。頂上までのコースはほとんどの区間が舗装された林道ですが、3kmと歩行距離は少し長くなりました。途中、水分補給やトイレ休憩をしながら登りましたが、体力不足や息切れでの脱落者もなく進行し、頂上付近の天満神社の手前で昼食にしました。

休憩後、景色の良い鈴振崖に登りました。岩場のため鎖が手すり状に張られていますが、崖の頂上付近は鎖がないため、スタッフで登山道に補助ロープを垂らしました。岩場での歩行の安全を確保する上ではよい取り組みだったと思いま

す。

その後、777mの成羽天神山の頂上に移動し、記念撮影などした後、北方登山口への登山道を下りました。勾配が少しきつかったですが、歩幅を小さくし、一步一步慎重に下りました。

成羽天神山は、日本の地理的植物分布特性(植物区系)の阿哲地域にあります。

阿哲地域は遺存種や固有種が豊富で、古くから多くの植物学者に注目されてきた地域です。今回の観察会では、アテツマンサク、ナツアサドリなど、阿哲地域の特徴的な樹種を紹介するとともに、ヒメコマツ、ツメレンゲ、ナンキンナカマドなど岩盤(チャート)の露出した成羽天神山の厳しい自然条件で生き抜く植物も紹介できました。

この地域には、ベンガラなどの鉱物資源を利用した産業遺跡や、奇岩の見られる観光スポットがあります。観察会のしおりで、それらの情報を提供するとともに、花の季節に再度観光で来られるよう、近辺の観光スポットも紹介しました。

#### 岡山県森林インストラクター会参加者(五十音順)

|       |       |                                |
|-------|-------|--------------------------------|
| 実行委員会 | 委員長   | 立石智宣                           |
|       | 委員・会員 | 赤瀬誠太郎、大橋日出男、小見山節夫、宮畑修治<br>横林英記 |
|       | 会長    | 中島嘉彦                           |
|       | 役員    | 梶原利廣、諏訪岳憲、高尾欽也                 |



鈴振崖から吹屋方面を望む



急な下りを無事下山(北方登山口)